

第81回
トップマネジメントセミナー
[2009年]

経済危機下の金融機関と 果たすべきミッション

期 日 2009年7月23日(木)~24日(金)

講師陣 三菱東京UFJ銀行 頭取 **永易 克典** 氏

日本銀行 金融機構局長 **田中 洋樹** 氏

A.T.カーニー 特別顧問(前足利銀行頭取) **池田 憲人** 氏

日本リスク・データ・バンク 社長 **大久保 豊** 氏

中国銀行 頭取 **永島 旭** 氏

慶應義塾大学 教授 **竹森 俊平** 氏

作家・エッセイスト **浅見 帆帆子** 氏

HCアセットマネジメント 社長 **森本 紀行** 氏

パネルディスカッション

〈パネリスト〉

農事組合法人 和郷園 代表理事 **木内 博一** 氏

三井住友銀行 成長事業グループ グループ長 **北澤 裕司** 氏

鹿児島銀行 アグリクラスター推進室長 **諏訪田 敏郎** 氏

〈コーディネーター〉

日本総合研究所 執行役員 創発戦略センター所長 **井熊 均** 氏

会 場 (新) 経団連会館(東京・大手町)

参加費 132,300円(テキスト代、昼食代、消費税を含む)

主な対象者 金融機関および金融関連企業の役員(定員100名)

経済危機下の 金融機関と果たすべき ミッション

ご参加のおすすめ 金融界役員を対象としたこの「トップマネジメントセミナー」は、1965(昭和40)年以来毎年開催しているもので、金融界唯一の横断的経営セミナーとして高い評価をいただいております。

世界的な金融資本市場の混乱が実体経済に大きな影響を及ぼし、我が国を含め各国は金融・財政政策を総動員してこ

2009年 7月23日 木

9:30 ~

開場

9:50 ~

開会・挨拶

金融財政事情研究会 理事長 山口 公生

Session

10:00 ~
11:30

三菱東京UFJ銀行 頭取 **永易 克典** 氏

基調講演

米国発の世界経済危機下において日本の金融界も急激な収益の悪化を余儀なくされている。銀行経営の健全化、企業業績の急落と資本市場の収縮を背景とした銀行借入への傾斜、中小企業融資の推進、企業支援のソリューションビジネス、預り資産業務の再構築など、環境激変下の経営課題への取組みを開陳する。



11:30 ~
12:20

(昼食会)ゲスト ヴァイオリン演奏 **天満 敦子** 氏

Session

12:20 ~
1:50

日本銀行 金融機構局長 **田中 洋樹** 氏

「最近の金融機関経営の動向と課題」

内外経済環境の急激な悪化による有価証券損失の拡大や信用コストの高まりが、わが国金融システムの健全性や資金仲介機能にどのような影響を及ぼしているのか。また、Tier 対比で見た信用リスク、株式リスク、金利リスクの動向を規模別・業態別に観察する。



Session

2:00 ~
3:30

A.T.カーニー 特別顧問(前足利銀行頭取) **池田 憲人** 氏

「地銀経営再生への道」 ～ 足利銀行復活の実践から～

2000年代はじめの金融危機下、横浜銀行副頭取として再建(リストラ)に「辣腕」を振り、国有化された足利銀行頭取に転じて、苦境にある地域企業を支援しつつ、「汗と涙」の陣頭指揮により4年半、みごと再興に導いた実践と教訓。



Session V

3:40 ~
5:10

日本リスク・データ・バンク 社長 **大久保 豊** 氏

「脱『貸し渋り』の金融システム」

中小企業のデフォルトが続く不況下、金融機関への感情的な「貸し渋り」批判が再燃している。現在のプライムレートにかわる「信用プライムレート」、「信用スタンダードレート」による『新貸出基準金利制度』を提唱し、「貸し渋りジレンマ」の克服を提言する。同時に、証券化市場による中堅企業への資金供給システムの創設を説く。



の難局を乗り越えようとしております。景気の底入れ期待が膨らむ一方で、経済・金融情勢は未だ不確実性・不透明感も色濃く、予断を許さない経営環境が続いております。

第81回を迎えます本セミナーでは、「経済危機下の金融機関と果たすべきミッション」をメインテーマに掲げ、先進メガバンクの経済環境激変下の経営戦略、有力地方銀行の

戦略と重点施策、地域経済振興と金融機関のミッション、地銀経営再生の実践、専門家による金融危機後への視点、脱「貸し渋り」に向けた提言など、多彩なテーマと講師陣で現下の課題と今後の方向性について明らかにするものです。

金融機関および金融関連企業の役員の方々のご参加をお勧めいたします。

2009年 7月24日 金

Session V
9:00 ~
10:30

中国銀行 頭取 永島 旭 氏

「中国銀行の経営戦略と当面の重点施策」

預金4.8兆、貸出3.2兆、有価証券1.9兆、Tier 1 1.7(08/9末) 09/3月決算純利益70億円(予想) 山陽、山陰、瀬戸内の有力地銀が割拠する中で伝統的な「自主健全経営」を堅持しつつ、永島頭取の下で近年は積極的にリスクを取って顧客のニーズに対応。デリバティブ、シ・ローン、社債、M&A等の投資銀行業務収入40億円をめざす。



Session VI
10:40 ~
12:10

慶應義塾大学 教授 竹森 俊平 氏

「金融危機後の資本主義経済はどう変わるのか」

6年前に名著「経済論戦は甦る」で29年大恐慌と経済政策を巡る論戦をドラマチックに解明した竹森教授の洞察。今回の危機で、一時的に社会主義的(公的)な対応をとる国が増え、金融は「公益事業」としてリスクへの規制が強化され、結果、世界経済は低成長時代に入るだろう、と予測する。



12:10 ~
1:30

(昼食会) ゲストスピーチ 作家・エッセイスト 浅見 帆帆子 氏

「今、直感やシンクロニシティ(共時性)が必要な理由」 ～強運をつかむ人生～

人生に心から至福を感じて日々を楽しんでいる人たち、本当の意味で心豊かに成功している人たちは、知らない間に直感やシンクロニシティを理解し、生活に取り入れている。今の時代、これらのものを素直に受け入れて流れに乗っている人と、すべてをまわりのせいにして不満の多い人たちの暮らしぶりはますますひらいていく。まわりに起こることは自分の意識ですべて変えられること、言葉のもつ言霊、直感やシンクロニシティの仕組みについて語る。



Session VII
1:30 ~
3:00

HC アセットマネジメント 社長 森本 紀行 氏

「金融危機と有価証券投資の教訓」

リーマンショックによる証券化商品市場の崩壊で、日本の金融機関もまた大きな損失を受けた。予知不能の蹉跌とはいえ、「本業」としての有価証券業務における今後の運用戦略の再構築へ向けた教訓として活かさなければならぬ。全世界の投資タレントを発掘して運用委託するという新しいタイプの資産運用事業を指揮する森本氏の提言。



Session VIII
3:10 ~
5:10

パネルディスカッション 「金融機関アグリビジネスの現状と展望」

【パネリスト】 農事組合法人 和郷園 代表理事

木内 博一 氏

(五十音順)

三井住友銀行 法人マーケティング部 成長事業グループ グループ長

北澤 裕司 氏

鹿児島銀行 営業支援部 アグリクラスター推進室長

諏訪田 敏郎 氏

【コーディネーター】 日本総合研究所 執行役員 創発戦略センター所長 井熊 均 氏

近年、金融機関の新しい融資分野として農業法人への取り組みが注目される。既に、年商3億円以上の法人の主取引銀行は地銀が系統機関を凌駕して50%以上を占めるに至っている。アグリビジネスに先進的に取り組む鹿児島銀行、三井住友銀行、そして千葉県を拠点として農産物の生産・加工から販売まで自立した経営を展開する「和郷園」の創設者が、今後のビジネスモデルの可能性と課題を検討する。



木内 博一 氏



北澤 裕司 氏



諏訪田 敏郎 氏



井熊 均 氏

テーマ・講師・時間等が変更となる場合がございますことをご了承願います。

経済危機下の金融機関と 果たすべきミッション

期 日 2009年 7月23日(木)~ 24日(金)(2日間)

会 場 (新) 経団連会館 (2階 経団連ホール)

参加費 132,300円(テキスト代、昼食代、消費税を含む)

主な対象者 金融機関および金融関連企業の役員(定員100名)(交代聴講可)

お申込み方法・要領

別添の申込書にご記入のうえ、FAXまたは郵送にてお送り願います。お電話によるお申込みはご予約とさせていただきます。

お申込み多数の場合は、申込書による受付順に締め切らせていただく場合がありますことをご了承願います。申込書到着後、請求書と聴講証をお送りいたします。開催3日前までに届かない場合にはご連絡願います。なお、期日切迫してからのお申込みの場合には、聴講証は会場でお渡しいたします。

参加費のお振込みは請求書到着後、開催日までにお願いたします。参加費の払戻しはいたしませんので予めご了承ください。

領収証ご入用の場合は、申込み時に別途ご連絡願います。

お願い

レコーダーなどの記録機器の持込みはご遠慮ください。

テキスト、資料等は当日会場でお渡しいたします。参加者以外の方にはお頒けいたしません。

参加される方のご都合が悪い場合は、代理の方のご出席をご考慮願います。

駐車場をご利用の場合、駐車料金は有料となります。

会場ご案内

【受付】(新)経団連会館(右図参照)

東京都千代田区大手町1-3-2

東京メトロ千代田線「大手町」駅(C2b出口)より徒歩1分

【当日のご連絡先】

経団連会館 [営業センター] TEL 03-6741-0222

社団法人 金融財政事情研究会

〒160-8519 東京都新宿区南元町19

企画内容についてのお問合せ先:

事務局

TEL:03(3358)0014 [河野・新田] / FAX:03(3359)7947

参加お申込みについてのお問合せ先:

「トップマネジメントセミナー」係

TEL:03(3358)0014 [直通] / FAX:03(3358)2069

